



世界EM団子の日 野府川で心も浄化

8月8日は「世界EM団子の日」。今年も地元・野府川で、恒例のEM団子投入を行いました。EM団子とは、善玉菌の集合体・EM（有用微生物群）を土や米ぬかに混ぜて発酵させたもので、川に入れると微生物の力でヘドロや臭いを分解し、水をきれいにしてくれます。まさに自然と仲良くする“まるい味方”です。

当日は早朝8時にもかかわらず、小さなお子さんからベテラン参加者まで約40名が集まってくださいました。連日の暑さも和らいだ爽やかな朝。本来は全国的に11時ジャスト投入がルールですが、ここでは夏の暑さと体への負担を考え、少し早めのスタート。それでも「川をきれいに」という志は全国の仲間と同じです。

橋の上では「野府川をキレイにする会」の長崎さんの合図で、一斉に団子を投げ込みました。水しぶきが朝日にきらめく様子はそれだけでも美しいのですが、投げる皆さんの笑顔はそれ以上に輝いていました。

そんな中、ほっこりする出来事がありました。小さなお子さんが、自分の手のひらにぴったりの小さな団子を選び、大事そうに投げていたのです。思えば団子作りの時、私は見た目や保管のしやすさを優先してサイズをそろえようとし、わざわざ小さな団子を大きく作り直していました。その様子を見られ、少し気まずい気分…。

2025
8/8
(FRI)

2025



団子がつなぐ自然の輪

野府川 河川浄化活動



ところが当日、その“小粒”はまるでこの子のために生まれてきたようにぴったり。私はハッとしました。

何でも規格をそろえるより、いろんな形や大きさがあってこそ楽しい。EMが川を浄化してくれるように、この経験は私の頭の固さまでほぐしてくれました。

